祭り三州2013

ゴルフを楽しむ子どもたち

10月20日、三州カントリークラブで、「祭り三州2013」が開催されました。この祭りは、多くの方にゴルフに親しんでもらおうと、昨年より開催されています。当日は、特設ステージで、バンド演奏や豪華賞品が当たる抽選会、花火など様々な催しが披露され、多くのお客さんで賑わいました。

実際のゴルフコースを使用したキッズゴルフ体験も開かれ、初めてゴルフを体験した子ども達からは「芝生がきれい」、「おもしろい」といった声が聞かれました。

曽於市観光ボランティアガイドが表彰

表彰状を受けとる高木会長

曽於市観光ボランティアガイドの会が平成25年度元気高齢者チャレンジ推進事業で、高齢者を中心とした地域貢献活動を行っている団体として認められ、10月31日、県民交流センターで表彰されました。

同団体は、平成23年に発足した市内観光ツアーのガイドを行っている団体で、現在は63名が登録しています。

今回の表彰を受け、高木秀久（たかぎひでひさ）会長は「設立されて日が浅いにも関わらず、表彰されて本当にありがたいです。これからも頑張りたい」と話しました。

駅跡を美しく

鉄道 OB 会の方々による清掃作業

10月14日、JR九州鉄道OB会末吉分会の25名が、末吉鉄道記念館周辺の清掃を行いました。

この活動は、志布志線廃線後に、「駅はなくなってしまったが、駅跡はきれいに保っていこう」という思いで始められたもので、毎年、鉄道の日である10月14日に行われています。

会長の森岡孝太郎（こうたろう）さんは「お世話になった駅への思いは、今でも強くあります。年に一回ですが、こうして皆で作業をして、昔の思い出話しをするのが楽しみです」と話しました。

十三夜の月を愛でる会

月見飾りを囲んでの曽於市音頭

10月17日、旧財部北中学校で、たからべ森の学校（職業訓練校）による「十三夜（じゅうさんや）の月を愛でる会」が開かれました。十三夜とは、旧暦の9月13日で、「後（のち）の月（つき）」ともいい、月が美しい夜であるとされています。

この日は、みんなで楽しく秋の夜長を過ごそうと、地域住民をはじめとして、多くの人が集まりました。このイベントを提案した吉田眞里子（まりこ）さんは「このイベントをきっかけに、地域と学校の繋がりが深まり、その輪が広がって欲しいです」と話しました。

平和への願いをこめて

追悼式の様子

10月23日、市戦没者追悼式が財部きらめきセンターで挙行されました。

当日は、遺族や関係者など、約四二〇名が参列しました。市長の式辞、来賓による「追悼のことば」に続き、献詠や献花が行われ、参列者は戦争の犠牲になった市出身戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げました。

現在の平和と繁栄の陰には戦争による多くの尊い犠牲があります。参列者は、このことを後世へ伝え、戦争のない平和な未来をつくることを新たに誓いました。

おおきく、おおきくな〜れ!!

みんなで元気にダンス

10月30日、子育て支援センター主催のミニミニ運動会が「そお生きいき健康センター」で開催されました。

この運動会は、乳幼児を持つ子育て中の方々を対象として行われており今年で7回目を迎えました。当日は、60組を超える親子が参加し、かけっこやハイハイ競争、ダンス、玉入れなど楽しいプログラムに大きな声援を送りながら楽しいひとときを過ごしました。

かわいい子どもたちの、これからの成長が楽しみです。

県道2号線沿いに花を植えました

作業を終えて笑顔のスポーツ推進委員

10月9日、財部町スポーツ推進委員7名がボランティアで、財部町北俣の県道2号線沿いの花壇に花を植えました。これは県道を通って鹿児島空港に行く人たちの目を楽しませ、財部をアピールすることを目的に15年前から続けられています。

西丸國治会長は、「県道を通る人たちが、花を見て喜んでくれたら嬉しいです。始めてから15年が経ちますが、これからも続けていきたいです」と話されました。

農業及び商工業発展のために若い力を

新規就業者の皆さん

10月23日、市役所で新規就農者支援対策事業及び商工業新規就業者支援対策事業認定書交付式が行われました。この制度は、曽於市の農業及び商工業の新規就業者に認定後2年間に渡って、農業は毎月5万円から15万円を、商工業は毎月5万円から7万円を支援する制度です。

今回は、農業6名、商工業5名が認定されました。式では、市長から認定書が手渡されました。認定者は、「自分の目標に向かって頑張ります」と力強く抱負を述べました。

秋の元気祭り

お客さんで賑わう末吉総合センター

10月20日、末吉総合センターでNPO法人そお文化村主催の「秋の元気祭り」が開催されました。

そお文化村は、末吉総合センターを活動の拠点として、文化活動を通しての地域住民の交流や、地域の活性化に取り組んでいます。

当日は、映画の上映や、メセナ楽団によるコンサート、ハロウィンパーティーなどが行われました。また、センターの外には様々なお店が並び、訪れた方々は秋空の下、思い思いの時間を楽しんでいました。

市民の人権を守るために

左から幸田さん、中山さん、大窪さん

11月5日、市長室で人権擁護委員の委嘱状伝達式が行なわれました。

今回は、人権擁護委員として、末吉地区の大窪義孝（おおくぼよしたか）さん（五期目）、中山（なかやま）壽子（としこ）さん（二期目）と大隅地区の幸田（こうだ）貞文（さだふみ）さん（二期目）に法務大臣からの委嘱状が交付されました。曽於市では、9名の人権擁護委員が人権相談をはじめとして各種活動を展開しています。

五位塚市長は「皆さんの経験を生かして、曽於市民の人権を守るために尽力してください」と激励しました。

西日本養鰻立地協定調印

市長と握手を交す笠岡代表取締役

11月5日、株式会社西日本養鰻（笠岡繁樹（かさおかしげき）代表取締役）との立地協定調印式が行なわれました。うなぎ稚魚の取引価格が高騰する中、優良な国内産うなぎの養殖事業を展開することは、大きなビジネスチャンスであると見込んでの新規参入です。

新規事業所は、岩崎中学校跡地に設置され、「高密度循環養魚（こうみつどじゅんかんようぎょ）システム」という使用電力及び水量を従来のシステムより大幅に節約できる設備を採用しています。地域経済の発展に大きく貢献することが期待されます。

「じんけんってなぁ～に」運動

「人 KEN まもる君」を囲む子どもたち

10月3日、末吉総合体育館で「じんけんってなぁ～に」運動が行われ、来春小学校就学予定者一六七名が参加しました。この取組みは、人権キャラクターのぬり絵等を通じて、子どもたちの情操をより豊かにし、人権への意識を芽生えさせ、その理解を深める第一歩とすることを目的としています。

当日は、ぬり絵の他にビデオ上映や人権キャラクターとの写真撮影が行われ、子どもたちは笑顔で人権について学びました。ぬり絵は、12月4日から10日まで各支所に展示されます。